

基礎案での記載箇所		章項目	5. 2. 3	ページ	p.36	行	29行目
事業名	河川環境上必要な水量を検討			河川名	淀川、猪名川、野洲川、草津川、姉川、高時川		
府 県	滋賀県、大阪府、兵庫県						

### ●現状の課題

淀川大堰から下流に魚道を通して放流を実施しているが、流況が良好な時以外は、放流を制限または停止している。

大川(旧淀川)や神崎川の水質改善目標も踏まえて、維持流量として淀川から大川(旧淀川)へ70m<sup>3</sup>/s、神崎川へ10m<sup>3</sup>/sを確保するよう放流している。

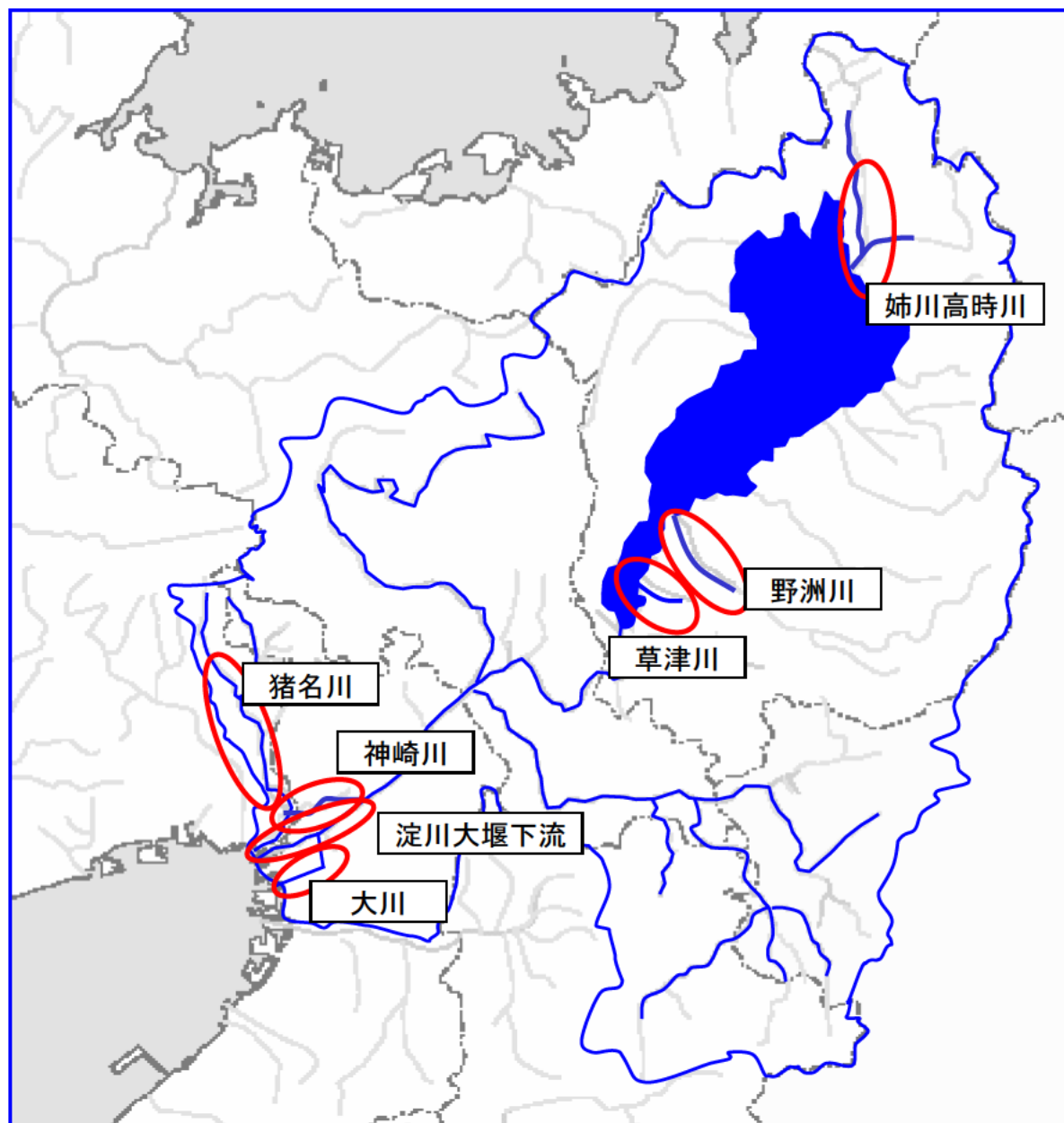
### ●河川整備の方針

淀川大堰下流や琵琶湖に流入する河川等において、水量が生物の生息・生育環境の保全・再生にとって重要な要因となっていることから、各河川特性に応じ、周辺の地下水や伏流水への影響を含めた河川環境上必要な水量を検討する。

### ●位置図



## ●平面図



## ●姉川・高時川について

姉川・高時川の河川環境上必要な流量の検討については、具体的な整備内容シート【ダム-5】に記載。

## 野洲川・草津川瀬切れ調査

### ●具体的な整備内容

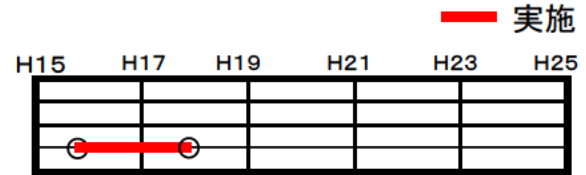
周辺の地下水や伏流水への影響を含めた河川環境上必要な水量を検討するとともに、確保可能な水量を把握するために必要な諸調査を実施する。特に、瀬切れ等の問題が生じている野洲川、草津川、姉川・高時川については早期に着手する。

### ●検討内容

瀬切れ発生に関する諸調査  
発生時期、発生位置、原因など

調査結果に基づく検討  
必要流量の検討  
漏水対策  
流量確保の手段

### ●実施スケジュール



### ●概要

瀬切れの原因調査の実施



調査結果を考慮した、対策の検討

- ・瀬切れの実態把握
- ・瀬切れ解消のために必要な河川流量の検討
- ・流量確保のための検討
- ・伏流箇所における漏水対策の検討 など

### ●整備効果

対策を実施した場合には、瀬切れの発生が抑制できる可能性があり、その結果、流水の連続性が確保され、魚類をはじめとする生物の移動が可能となる。

### ●提案理由

現在の野洲川では石部頭首工を境にして流量が極端に違い、頭首工から下流では瀬切れが発生している。瀬切れにより縦断方向の連続性が確保できないなど、環境上問題があるため、瀬切れの発生のメカニズムの調査を実施し、その対策について検討することとした。

### ●委員会等からの意見

「整備計画進捗状況報告」においては、「事前モニタリング実施中」「モニタリングを踏まえ修復方法の調査・検討」とあるだけである。少なくともモニタリングの方法を明示し、さらにどのような結果が予測されるのか、それをもとにどのように修復方法を検討し実施するつもりなのかについて、直ちに内容を明示されたい。

また、直轄でない河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないことは、「基礎原案に係る具体的な整備内容シートについての意見書」において指摘したにも係らず、「基礎案に係る具体的な整備内容シート」に記載されておらず、さらに今回の「進捗状況報告書」でも扱われていないことは、極めて遺憾である。直ちに「検討」に入り、かつその検討の結果を明らかにすべきである。【琵琶湖部会】

### ●進捗状況

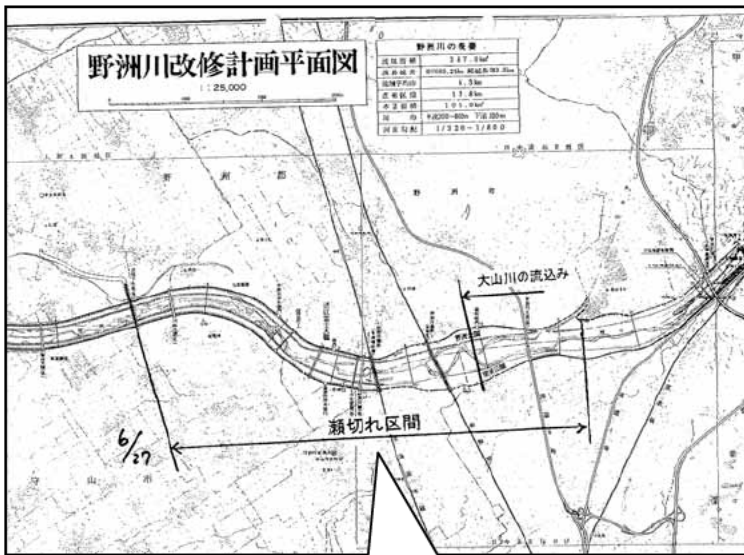
維持流量の検討および諸調査として瀬切れ発生時期、発生箇所調査を実施した。野洲川においてH17. 4. 25～6. 30の間発生した瀬切れについて瀬切れ区間の確認と生物の生息状況のモニタリングを実施し、落差工部の魚道改良設計の基礎資料として蓄積した。

### ●今後の見通し等

引き続き維持流量の検討および諸調査の実施。

### ●進捗状況(写真・図面)

#### 瀬切れ調査(例)



平成17年6月27日(11時頃)  
瀬切れ区間5.0k～11.2k(6,200m)  
(被害状況)

1. 川田大橋下流、新幹線橋下のたまり水に魚影あり。死骸なし。





河川環境上必要な水量を検討(大堰下流)

●具体的な整備内容

周辺の地下水や伏流水への影響を含めた河川環境上必要な水量を検討するとともに、確保可能な水量を把握するために必要な諸調査を実施する。

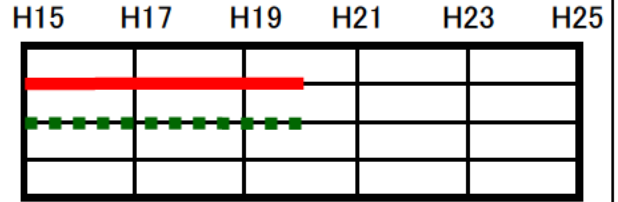
流域における水質汚濁対策効果等を考慮して維持流量を検討する必要がある淀川大堰下流については早期に着手する。

●検討・実施内容

- ・諸調査の実施
- ・大堰下流の生物調査
- ・対策手法の検討

●スケジュール

各地区(内容)毎の詳細なスケジュール

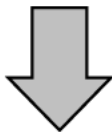


- 望ましい流量検討会
- 淀川環境委員会
- 実施

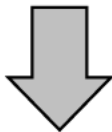
●概要

●放流量の確保については、新淀川や旧淀川への放流量のあり方について、下記の項目等を中心に検討。

・維持流量把握のための諸調査の実施



維持流量の検討



放流量増加による環境改善の予測

維持流量の検討項目

- ・汽水環境の保全からみた新淀川への適正な維持流量の増加
- ・塩分の高濃度化とその停滞を防止するための放流
- ・夏季の低流量時に生じる底層での貧酸素化を防止するための放流

**●概要**

新淀川への適正な維持流量を把握し、その量を放流することで、大堰直下流の夏季の貧酸素化の軽減や、汽水域の生態環境の改善が期待できる。また、それに伴って通し回遊魚である魚類、甲殻類の遡上が促され、改善効果は淀川本川及び木津川、宇治川、桂川へと広範囲に及ぶことが期待できる。

**●委員会等からの意見**

淀川大堰における河川環境上必要な水量を検討することは重要であり、必要な諸調査を早急に実施することが必要である。

大川(旧淀川)等の環境を考慮しながら常時放流を検討することは緊急の課題であり、干潟の復活を含めて、早期の調査・実施が望まれる。また、神崎川の水質・底質を改善するための淀川からの送水量は、大川(旧淀川)への送水量とのバランスを考慮して見直すことが重要である。

**●進捗状況報告**

- ・淀川下流域の河川環境上望ましい流量に関する検討会の開催
- ・水質調査、環境調査の実施



## 河川環境上必要な水量を検討(大川・神崎川)

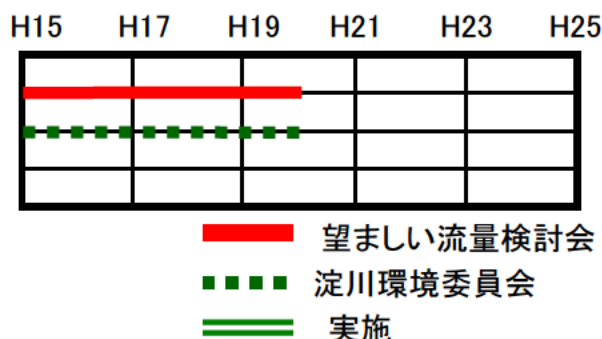
## ●具体的な整備内容

流域における水質汚濁対策効果等を考慮して維持流量を検討する必要がある大川(旧淀川)、神崎川については早期に着手する。

## ●検討・実施内容

- ・諸調査の実施

## ●スケジュール



## ●概要

## ●維持流量の検討項目

流域における水質汚濁対策効果等を考慮して維持流量を検討する必要がある淀川大堰下流、大川(旧淀川)、神崎川については早期に着手する。

維持流量把握のための諸調査の実施



## 維持流量の検討

- ・舟 運 : 舟の吃水の確保から維持流量の検討
- ・漁 業 : 水質、流速、水深等について維持流量の検討
- ・景 観 : 視覚的に満足を与える維持流量の検討
- ・塩害の防止 : 上水道、農業、漁業に影響を与えない維持流量の検討
- ・河口閉塞の防止 : 土砂堆積により河口の閉塞を防止するための維持流量の検討
- ・河川管理施設の保護 : 施設の腐食防止から維持流量を検討
- ・地下水位の維持 : 地下水位の維持について維持流量を検討
- ・動植物の保護 : 動植物の保全の観点から維持流量を検討
- ・流水清潔の保持 : 水質について維持流量を検討
- ・水利流量 : 水利使用面からの水位、水量を検討(許可水利権、慣行水利権)

上記を総合的に考慮して維持流量を検討する。



**●概要**

淀川下流部では、大川(旧淀川)へ70m<sup>3</sup>/s、神崎川へ10m<sup>3</sup>/sの維持流量を放流することにより、大川や神崎川の水質改善を図ってきた。両川の水質は、一部環境基準を満足しない地点はあるものの、流域の水質汚濁対策と相まって、改善されてきている。

また、淀川大堰下流、大川(旧淀川)、神崎川への周辺の地下水や伏流水への影響を含めた適正な維持流量を放流することで生物の生息・生育環境の改善が期待できる。

流域における、水質汚濁対策効果を踏まえつつ検討することで、さらなる水質改善や生物の生息・生育環境の改善策の効果や水利用の合理化が期待できる。

**●委員会等からの意見**

淀川大堰下流・大川・神崎川において河川環境上必要な水量を検討することは重要であり、必要な諸調査を早急を実施することが必要である。

調査の実施に際しては、以下の事項に配慮されたい。

・対策の実施にあたっては全ての水利用者の協力が必要であり、水利権の見直しと用途間変更を視野に入れる必要がある。

・「環境委員会(仮称)」は、公開を原則とし、住民や住民団体等の意見聴取・反映を積極的に行う必要がある。

**●進捗状況報告**

・淀川下流域の河川環境上望ましい流量に関する検討会 開催

**●進捗状況報告**





## ●概要

## 3. 具体的検討手法

フィードバック



## 河川環境上必要な水量の検討

- ・維持流量把握のための諸調査の実施  
(河川流況、河川水量の水収支、湧水状況など)
- ・維持流量の検討  
(動植物の生息地または生育地の状況、漁業、景観等)



## 猪名川自然環境委員会

- ・これまでの調査、検討内容等について報告
- ・環境改善への方針、方策等について指導・助言
- ・住民・住民団体の意見聴取

## ●委員会等からの意見

## ●進捗状況

維持流量把握のための諸調査を実施している。

- ・流量調査、水質調査、環境調査
- ・農業用水の取水実態調査

## ●進捗状況

## 状況写真



↑ 流量観測の状況



↑ 水質調査のための採水状況



↑ 環境調査の状況



↑ 農業用水の取水実態調査状況